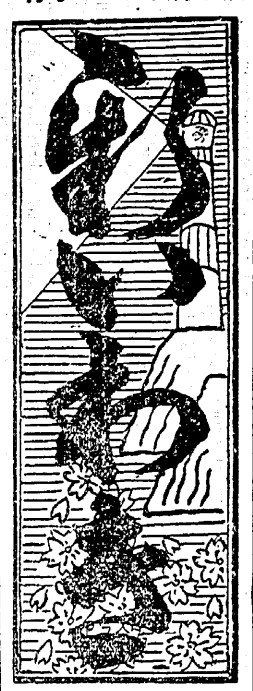
七月四日　夕刊

日曜日休刊　毎月二十五錢　郵税十五錢一部二錢
廣告料一行四十錢　場所指定一行五拾錢
發行兼編輯印刷人　平谷政喜
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社



座談會後開かれた陳情委員の協議會

調査官及び縣の官吏を加へて監督局側から出た協調案

平町地下採掘問題の座談會は昨報の如く正午過ぎ散會したがその後に於て仙台鑛山監督局瀬尾鑛業課長外技師二名並に縣から出張せる一行の臨席する懇談會を開いた、町側の出席は青沼町長外豫ねて推されてゐる反對陳情委員

井上議長、野崎副議長、萩原義雄、馬目雅治、關内正一猪狩觀德、多田井笑次郎、

の七氏で午後三時半頃まで續けられた懇談の結果は監督局調査官が個人の立場を以て語る案として

平町の反對には技術的に十二分でない點が見受けられる假りに監督局が許可をするとした場合には町には何か協調の案件がないかどうかと云ふに對して野崎、馬目兩委員は採掘に同意して一噸二錢位の報償金を受けた方がよいと唱ひ

他の委員一同は何所までも反對を續ける意志であるから左樣な事は考へてゐない若し茲に調査官に妥當的な案があるなら教えて貰ひたいと云ふに對し調査官から示された案があつた

一、新川を基點として七十度勾配（地上から炭層に達するまで）の安全線を取ること

二、古川を境界に眞つ直く下の以北は堀らぬ採掘せざること

三、坑道若くは通氣坑の開鑿は承認する、反對して來た試掘權だけは認めて二ヶ年後に更めて相談するか

に基づき其の何れかを撰んで來る十日までに回答を煩はしたいと云ふので平町では明五日町議全員の協議會を開き對策を決することになつたが大多數は町の將來に關する重大案なので權威ある技術者により最善の協調案を見出せるかどうかを研究することになる模樣である

柴田署長重要訓示

署長會議直後の今朝

注目される選擧取締對策

縣下警察署長會議に出席中の柴田署長は昨夜歸署したが今四日午前九時出署直後渡部司法、永澤特高兩司任以下司法特高視察係りの各刑事を署長室に召集し約一時間に亘り何事か嚴重訓示する處あつた即ち今回の署長會議は今秋九月に迫つてゐる縣會議員總改選に際し選擧肅正を一枚看板とする伊藤知事が肅正を期しての選擧取締り方策を授けるにあつた事は疑ひなく此訓示を体した柴田署長が各係刑事に何事を訓示したかは直に肯れることで縣會改選の接迫につれ果して何如なる選擧取締りを爲さんとしてゐるか非常に注目されてゐる

二萬七千五百圓の共同作業建設資金

石城郡四十五ケ所の指定中初めて貰ふ江名町の二ツ

縣が三井、三菱の義金による凶作對策の事業として農村に共同作業場を建設させる同資金の石城郡に對するものは植田、鉾、上遠野、入遠野、江名、小名浜、玉川、赤井、三坂小川、山田、川部、田人、好間永戸、川前、

十六ヶ町村に四十五ヶ所を指定し建設費三萬八千七百八十二圓に對して二万七千五百七圓の交付額を決してゐるが漸く完成されたものは江名町永崎、上神白の二ヶ所で明五日

平青年團の主催で全町民の体育大會

來る廿一日第三小學校で

平青年團主催第七回町民体育大會は來る二十一日午前八時から同町第三小學校庭に於て開催の筈で本月十五日限り各分團並に行政區内一般町民の參加申込みを第一小學校水竹訓導宛に受付けてゐるが競技種目は左記の如く尚ほ優勝旗は第一部八百米繼走の分團に平町長寄贈の町長杯と共に授與し其の他の優勝者には三等まで賞狀と賞品を授與すると

第一部百米　八百米繼走
鰌つかみ　寶探し　パン食
競走　自轉おそ乘競爭　東西對抗綱引　五十米（但三十才以上の者）
第二部百米　四百米　千米
瑞典繼走　千五百米　一萬米　俵運び　走巾　走高
砲丸投　其の他寶探し（來賓）繼走（分團長）

勇敢な善一少年

溺るゝ幼兒を救ふ

昨日愛谷江の急流に飛込み人命救助で表彰を内申

平町字仲間町五〇居住日東商會社員伊知川隆久氏長男博（六）が昨三日午後四時頃自宅附近の愛谷江筋附近で遊戯中誤つて河中に轉落急流に押流されてあはや溺死せんとしたのを同河で友人數名と水泳中の平第一小學校四年生佐藤善一君（一〇）が發見友人達が危險だからと制止したが勇敢な善一少年は急流に押流され浮きつ沈みつ瀕死の博君を救助すべく猛然河中に飛込み救助せんとしたが死者狂ひの博君に

しがみ付かれ手足の自由を奪はれ兩名とも溺死の危機に瀕したが辛じて河岸に泳ぎ付き博君を救助し得た善一少年の此の行爲は顯彰に價するものとして平署では直ちに人命救助で表彰方を知事に内申した

縣社境内に獨り野宿する少年

繼母に虐待されて家出哀れ不良少年の生立ち

平署人事相談所に出頭したが今四日午前五時頃平町縣社子鍬倉神社境内に野宿してゐる十才前後の見すぼらしい少年があるのを山部神官が發見不審の餘り件の少年を社務所に連れ込んで事情を聽取して見ると此の少年は當時上遠野村大字上遠野字日向倉農熊谷亥之松三男丹三（一三）で丹三を生み落して間もなく母に死に別れたので繼母に育てられたが繼母には四人の子供が生れ丹三の兄二人も居たゝまれず家出丹三も繼母の虐待に耐えかねて屢々家出したが去二日も朝から食も與へず子守りを云ひつけられ餘りのつらさに家出前夜は平驛構内で野宿同夜は前記縣社境内に野宿したものと判明山部神官が付き添つて此の少年は既に平署員とも顔馴染のある有名な不良少年、早速極田署に照會實父に引渡すことになつたが不良兒とは云へ此の不良兒を生んだのは結局繼母の虐待に因る事で食物を與へられない少年が盗んで喰ふ以外に道のない事は當然とあつて植田署で父母を呼びよせ嚴重説諭を加へることになつた

車輪盗

八百屋の惡事

内郷村宮字瀧三七八百屋大河原勝美（三）は去六月中同村高

妻と密會中の若い情夫を恐喝

腕時計を强奪した男

平署で檢擧取調開始

平警察署では昨三日夜一見勞働者風体の男女三名を引致極秘裡に何事かを嚴重取調中であるが事件の内容は一切極秘に附されてゐる、仄聞するに右三名は當時平町古鍛冶町居住古川汎二（三六）同内縁の妻北海道上川郡新得村生れ佐藤ロク（二七）假名赤井村大字赤井農增子幸市（二四）假名の三名で事件は昨年五月中當時内郷村大字小島字御台境に居住してゐた古川は妻ロクが性來の淫奔女であるところから監視中些細の事から知り合ひになつた前記增子と妻が遂に戀仲に陷り同月下旬の某夜午後十時頃情夫幸市と示し合せたロクが家を抜け出し同村小島字柴地内の路傍で密會野合中を古川が發見姦夫姦婦を自宅に連れ込み本來なら生かして置かない奴等だが警察へも届けないで勘辨してやるから昔なら七兩二分の定法だ、その倍額の十九圓を出せば内濟にしてやると恐喝、生憎幸市が無一文だつたので價格十七、八圓の銀側時計一ケを强奪した事が最近平署の探知する處となり關係者三名檢擧されたもので取調の進展により妻ロクと共謀した美人局の檢擧もあるので引續き嚴重取調中

野地内壽炭礦の炭車から車輪四ケ代拾余圓分を窃取した事發覺三日平署に檢擧されたが余罪ある見込で引續き取調中

視察夜話（八）

産業資源部員

多田井生

毛利氏の永代家老福原氏が當地に封ぜられてから約二百年を經て明治維新に及んだ、而して大正十年十一月一躍村から市となつたのである、當宇部には色々他に類を見ざる特殊の機關があつて市の發展を助成してゐる、即ち共同義會、達聰會、報德會である、

財團法人宇部共同義會は明治十九年五月の創設、公益事業の助成、地方開發に資する爲め村民擧つて應分の基金を醵出して組織したものである當時本市の採炭業は採掘權が區々で統一を缺き事業も爲めに振なかつたが本會は先づ之が整理に努め、鑛區理權を得以て石炭の滯掘を防ぎ、鑛業の健全な發達に資すると共に採掘によつて生ずる斤先收入を積立てる等、此種事業に關與すること約二十年基金も益々增加したので大正十二年には財團法人と成つたのである

本會が産業教育土木衛生、兵事及び社會事業に寄附した金額は既に十七、八萬圓に達し現今尚ほ基金十九萬圓を算するといふ、

宇部市達聰會は明治二十一年の創立で本市の公益に關する事柄につき、汎く市民の意見を徵し、公平適切なる方策を樹て協同一致圓滿に成績を收めるを目的としてゐる、創立以來政治産業教育土木その他民風作興等各種の事項につき適切なる輿論を確立し市民の幸福增進に盡してゐる、會員は現在五百名で全市各區より選出されてゐる、

當宇部市が斯くも一致協同順調な發達をなした根源を檢討するときに私共は福原越後守、渡邊祐策氏の先覺者に敬意を表さねばならぬ、

達聰會

エナージーはエネルギーに同じく理學上に所謂仕事をなし得る能力を云ふ、エナージズムも其の意味で精力的な根氣强い、猛烈なと云ふやうな類をエナージティックとよんでゐる

は各六百二十六圓づゝを交付されるものゝ如く他の作業場は何れも建築だけは完つてゐるが精米、粃摺、脱殻、製粉機等部落それ〴〵の機械設備があるために遲れてるもので八月中旬までには全部の竣功を告げるであらうと

檢査執行の筈であつた同所に

蠶種の依託 催青弊害（下）

桑の用意は三十グラムだけよりないのであるから云ふまでもなく桑の不足を來たし、買ひ桑をしなければならぬ羽目にも陷り一方には縣ではその年の養蠶諸情勢から割出して掃立て量を指導するとしても前記の魔術のために桑の不足を見るのみならず收繭量を計畫以上に增加することになりその影響するところは大きいのである、

養蠶家の掃立て數量に信を置いて收繭量をいくらと豫想して實際收繭して見るとそれよりはヅット多く當局を面喰はせるなどの現象は多くこゝに原因が胚胎するのである、

見やうによつては養蠶界の指導標をくつがいす害蟻でもあると云へやう、

かくて框製も普通蚕種の中に加へられてゐたが之れは一母蛾一區に產卵させねばならぬ規定を潛つていはゆる二蛾付けを敢へてするやうな蠶種製造者の不正から遂に昭和五年に廢止の運命に逢つてしまつた、その年の散卵（ばらだね）は平付けに對して一割六分の勢力より持たぬ微弱なものであつたのだが昭和九年には四割九分となり平付けと五分〳〵の勢力をもつに至つた拍車的の旺盛振りを示した、しかも此の散卵（ばらだね）が前記の如く依託催青に當つて魔術を施される缺點をもつに至つたのであるから指導監督にある農林省及び府縣の當局が觀過默視する譯に行かぬと云ふのは當然なことである。

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は 三三屋 平町田町

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

近代趣味……パラソル豐富陳列
ビツルヤ 電一四〇

産婦人科院 外科 藥局 長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 玄蕃彌一
平町新川町九一 入院隨意 病室完備
木村病院 電話一六四番

しづかに食事の出來る
正しい食堂
正しい喫茶
正しい酒場
平田町 レストラン サロン 電三五二

貸手車 平谷 平町大町若松醫院隣

診療科目
一、齒科一般 保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野惠次 日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

農村の更生振興に 天然加里肥
最も適應する作物！
蔬菜 馬鈴薯 里芋 しやうが類
◇茄果類ではトマト茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
天然加里肥は酸性でないから
◇如何に施用しても土壤を惡變する虞は絕對にありません
一俵 廿五錢（大量取引は特に割引致します）
製造販賣 金成國雅 平町鎌田 電話六八八番
貨物自動車（トラック）の御用命に應じます

★當りが多くて評判の
パチンコは アヅマ遊技場 平警察署前通り

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科
平町田町 高久病院 電話五一三番 院長 醫學士 高久忠

（磐城共濟病院）福島縣平町電六四一
內科 院長 醫學博士 石山謙郎 電話六四一番
小兒科 部長 岩手醫學士 佐藤尙輔
產婦人科 副院長 醫學博士 五十嵐雄二 電話三七〇番
外科耳鼻咽喉科 部長 醫學士 大町久藏
皮膚泌尿器病科花柳病科 部長 醫學士 前澤正 電話二七二番
X線療物科 醫學博士 石山謙郎 技術員 石山彪
藥局 藥劑師 吉本孝平
事務長 鈴木寶雄
（每日午前八時より午後十時迄診療）
●……病室完備……入院隨意……●

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店 關內正一 平町二丁目 電話一六番
事務取扱者 阿部助次郎

石炭 コークス 豆炭 平町郵便局通り 水野石炭店 電話二九九番

鼻の諸病に快鼻湯 有效保證
本劑は漢法醫の方劑で鼻病の爲め種々の外用藥並に內服藥を用ひ全治せざる方々及び手術後再發されし方々も本劑の服用により快癒された喜びの禮狀が各地から參つて居ります
效能 蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多過症、頭重、肥厚性鼻炎、その他鼻骨彎曲症、並に中耳炎に神効の賞讃を受く
（快鼻湯）製劑販賣元 水野藥局 磐城平町一丁目（電話六九九番）振替口座仙台（八七六番）